高森町の話題
takamori town topics

熊本県警察本部長・交通安全協会長
交通安全功労者表彰

４月10日、高森総合センターで行われた「春の交通安全運動出発式」の席上、長年にわたり地域の交通事故防止に尽力された町内の３名の方が「交通安全功労者表彰」を受賞されました。おめでとうございます。

▲左から井誠夫さん（高森･下町）、後藤政藤さん（永野原･大仲野）、後藤満さん（高森･天神）

南阿蘇マルシェ　てんとういち
阿蘇の魅力を発信

４月20日､月廻り公園で「てんとういち」が開催されました。

阿蘇在住の出店者がパンやお菓子、手づくりの服やアクセサリーなどを販売。多くの家族連れが訪れ、にぎわいを見せていました。

▲多くのお店に家族連れが足を運んでいました

カルデラ音楽祭
一体感あふれる多彩なステージ

５月11日と12日､観光交流センターで「カルデラ音楽祭」が開催され、町内外から23のグループが歌や演奏を披露しました。

ステージから呼びかけが行われると、観客席からは大きな歓声で応え、一体感のあるライブとなりました。

▲枝に実ったさくらんぼを上手にちぎっていました

高森東保育園

さくらんぼ狩り体験

５月22日、高森東保育園児20人が「さくらんぼ狩り」を楽しみました。

これは、奥あそフルーツガーデンを営む林高造さん（野尻・川上）が「地元の方に対し恩返しがしたい」と園児を招待したものです。園児たちは枝に実ったさくらんぼをちぎっては、手に持ったコップいっぱいに詰め込んだり、さっそく味見をしたりと楽しんでいました。

高森ふるさと学

高森ふるさと学は「高森町に誇りを持ち、自己の生き方を考え、表現する力の育成」を目標にした、小・中学校で行われる総合学習のことです。

高森東中学校

公開授業でぼかし作り

５月２日、高森東中学校の生徒19人と東小学校の６年生７人、地域住民でぼかし作りが行われました。

これは東中学校が年間を通じて行う微生物環境浄化活動の中心となるもので、学校農園のたい肥作りに欠かせません。

生徒たちは材料を手で混ぜ合わせ、足で踏み固めた後、樽に詰めていきました。

▲生徒たちと地域住民が一緒になって作業しました

高森中央小学校５年生

田植えを体験

５月20日、高森中央小学校の５年生40人がもち米の田植え体験を行いました。

これは、ＪＡあそ青壮年部高森支部の協力のもと、食育推進を目的に行われたもので今回で６回目。秋に収穫し、12月にもちつき体験を行う予定です。

参加した子どもは、「ふだん食べているお米が大変な作業からできていて驚きました」と、食の大切さを学んでいました。

▲田んぼに入り、苗を一つ一つ手植えしました

高森町の話題
takamori town topics

５月19日、「高森東小中合同運動会」、「高森中学校体育大会」が開催されました。
児童・生徒たちが懸命に競技や演技に取り組む姿に、惜しみない声援が送られていました。

◆高森東小中合同運動会

◆高森中学校体育大会

上天草市長、天草市議が表敬訪問

阿蘇・天草の交流で意見交換

５月21日、中村五木天草市議が高森町役場を訪問。町や議会、観光協会・飲食店組合の代表が出迎え、昨年から始まった牛深地域との交流や阿蘇・天草地域の今後の展望について意見交換しました。

また、翌22日には、川端祐樹上天草市長が草村町長を表敬訪問。昨年の九州北部豪雨からの復興状況や、それぞれの地域特性や発展に向けた構想について活発に話し合いました。

▼高森町の代表と懇談する中村天草市議（写真右端）

▲草村町長を表敬訪問した川端上天草市長（写真右）

草部福寿会が清掃活動

５月21日、老人クラブ「草部福寿会」（本田登会長）が町内の清掃活動を行いました。早朝から草部南部地区の国道沿いに落ちている大量の空き缶やゴミを拾い集めました。みなさん、大変おつかれさまでした。

青年海外協力隊　隊員として活躍

佐藤庸介さん（高森・上在）が活動報告

▲２年間の活動を無事終え帰国した佐藤庸介さん

平成21年３月から２年間、青年海外協力隊の隊員として南太平洋のサモアに派遣されていた佐藤庸介さん（高森・上在）が活動報告のため、草村町長を表敬訪問しました。

派遣先では、PCインストラクターとして学校の生徒や先生に向けたコンピュータの操作指導や機器の整備に尽力しました。

佐藤さんのコメント

サモアは面積が熊本県の半分にも満たない小さな島国で、南国らしい常夏の気候や人々がおおらかで良く笑うこと、家族間の絆の強さなどが印象的でした。

また、日本を離れたことでいかに私たちが恵まれた暮らしをしていたかを感じ取ることができました。

今回の貴重な経験を今後に生かしていきたいと思います。